

ミニパソコン W12 K12 K12C リカバリー手順書

動画で見る紹介ぜひご覧ください

(skynew 小型PC windows 11 リカバリー方法動画)



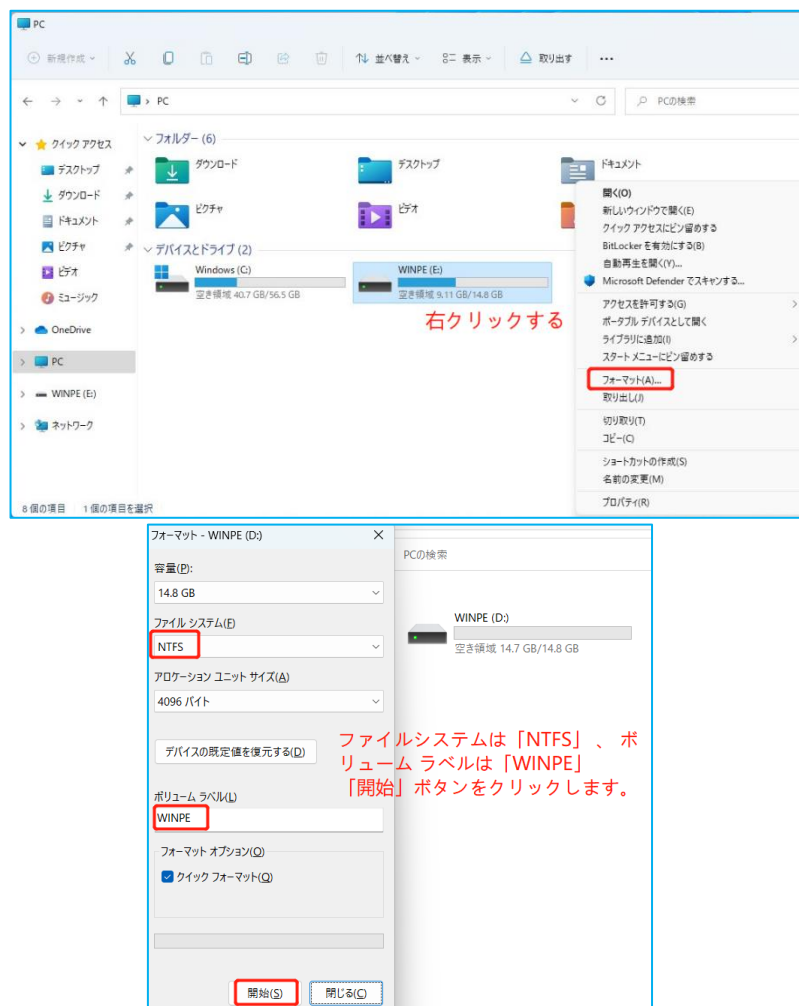
小型パソコン
W12 と共通
の手順です

付属のリカバリー用 USB メモリがない場合、別途 USB メモリをご準備いただき、次の手順を実施ください。

★ 付属のリカバリー用 USB メモリがある場合、ページ6からご覧ください。

注意: Windows 11 をインストールするためには USB メモリの容量は少なくとも 8GB が必要です。インストールデータを作成する際に、USB メモリ内のすべてのデータが削除されるため、データのない空き USB メモリを使うことを勧めます。

USB メモリ内のデータを削除する方法は以下をご参照ください。



準備が整ったら、リカバリー用 USB を作成し始めます。

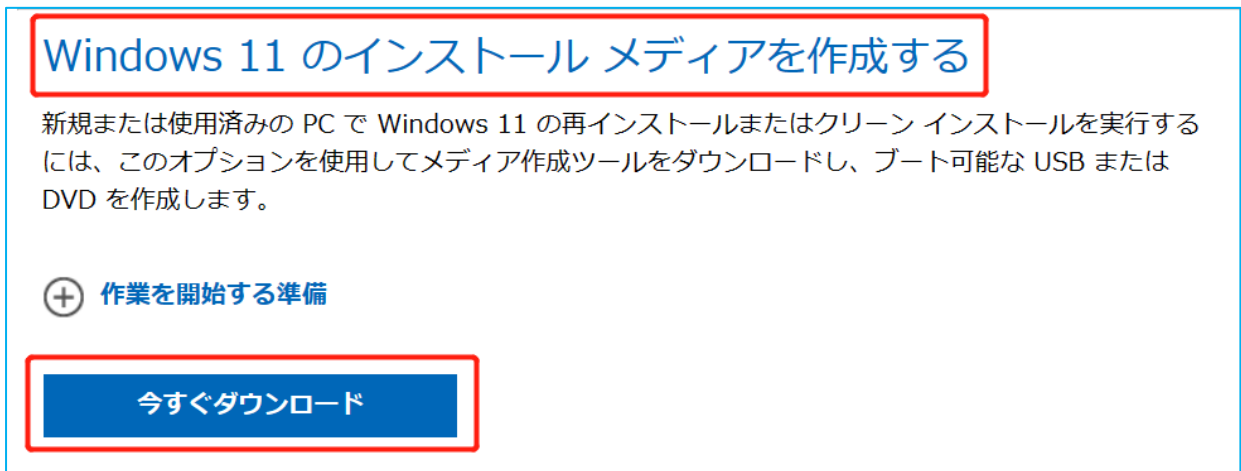
- ★ インターネット検索で「windows11 ダウンロード」と検索し、マイクロソフトの公式サイトから「メディア作成ツール」をダウンロードします。



または、下記の URL にアクセスして Windows11 Pro をダウンロードしてください。

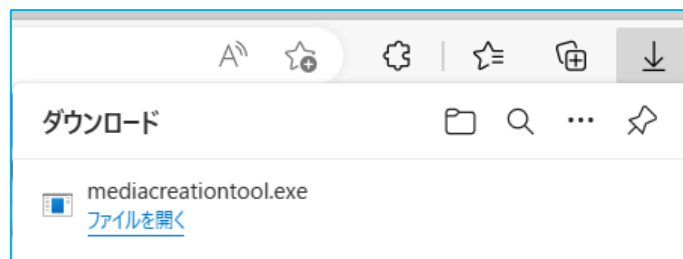
[Windows 11 をダウンロードする \(microsoft.com\)](https://www.microsoft.com/ja-ip/software-download/windows11)

- ★ 「Windows 11 のインストール メディアを作成する」からダウンロードしてください。



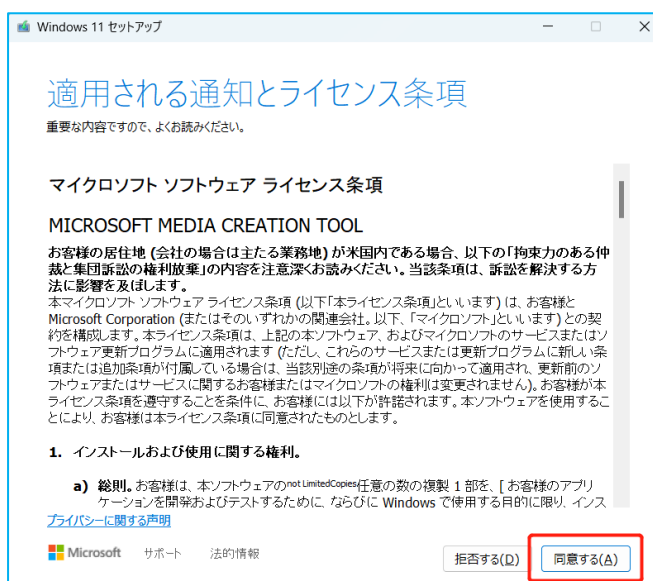
注意：こちらの手順を行う際はインターネットの接続が必要です。

- ★ 「MediaCreationTool」をダウンロードし、ダウンロードしたファイルを実行します。

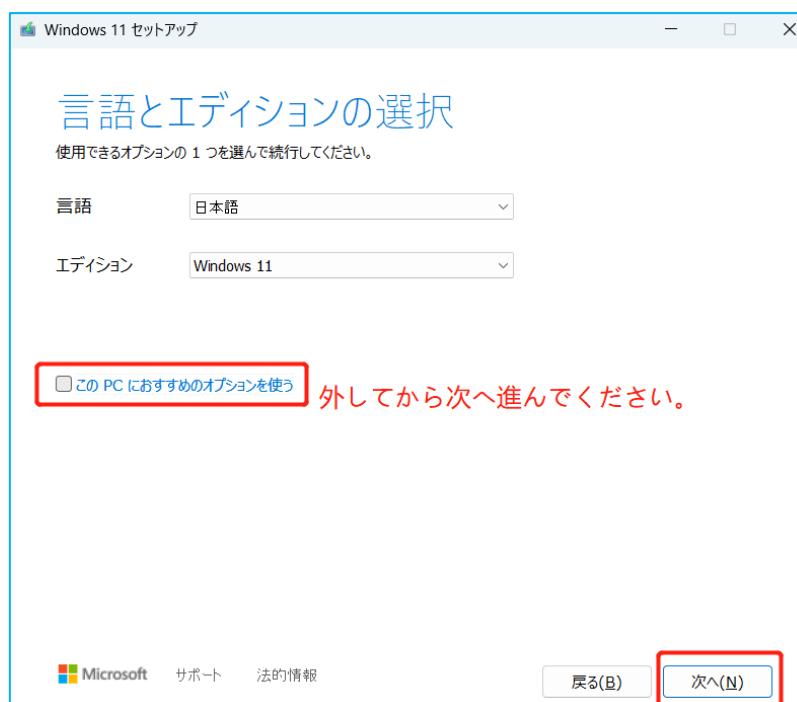


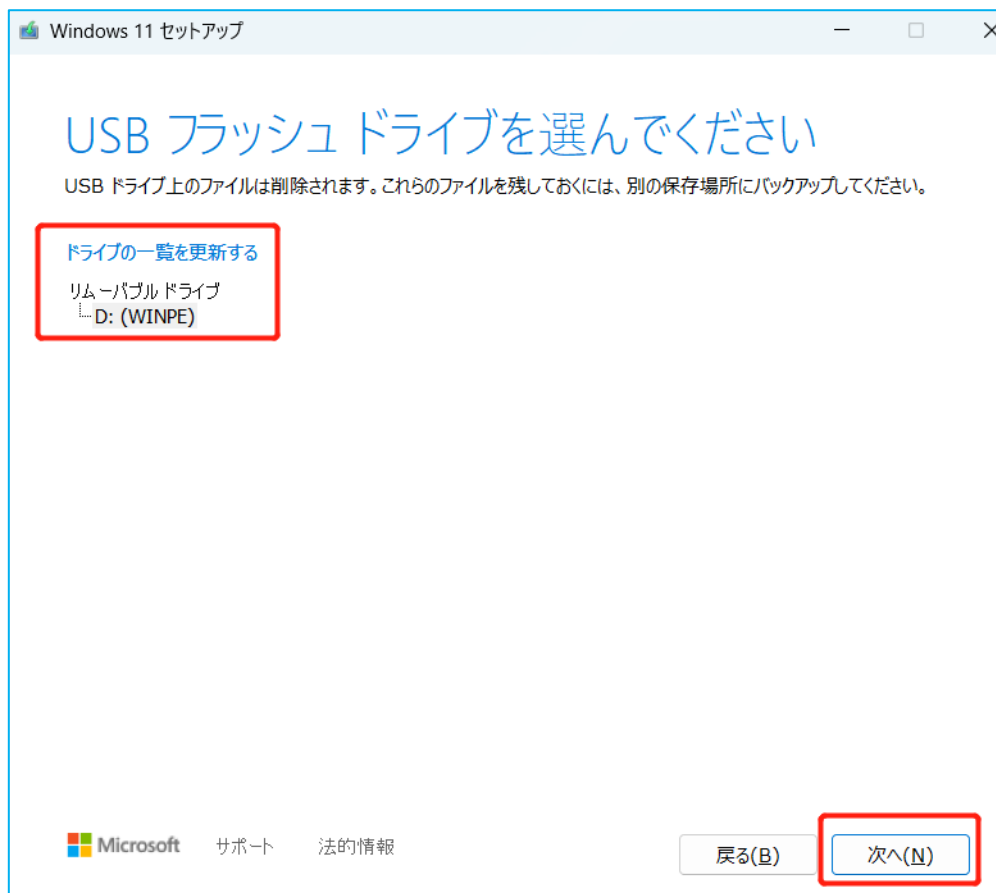
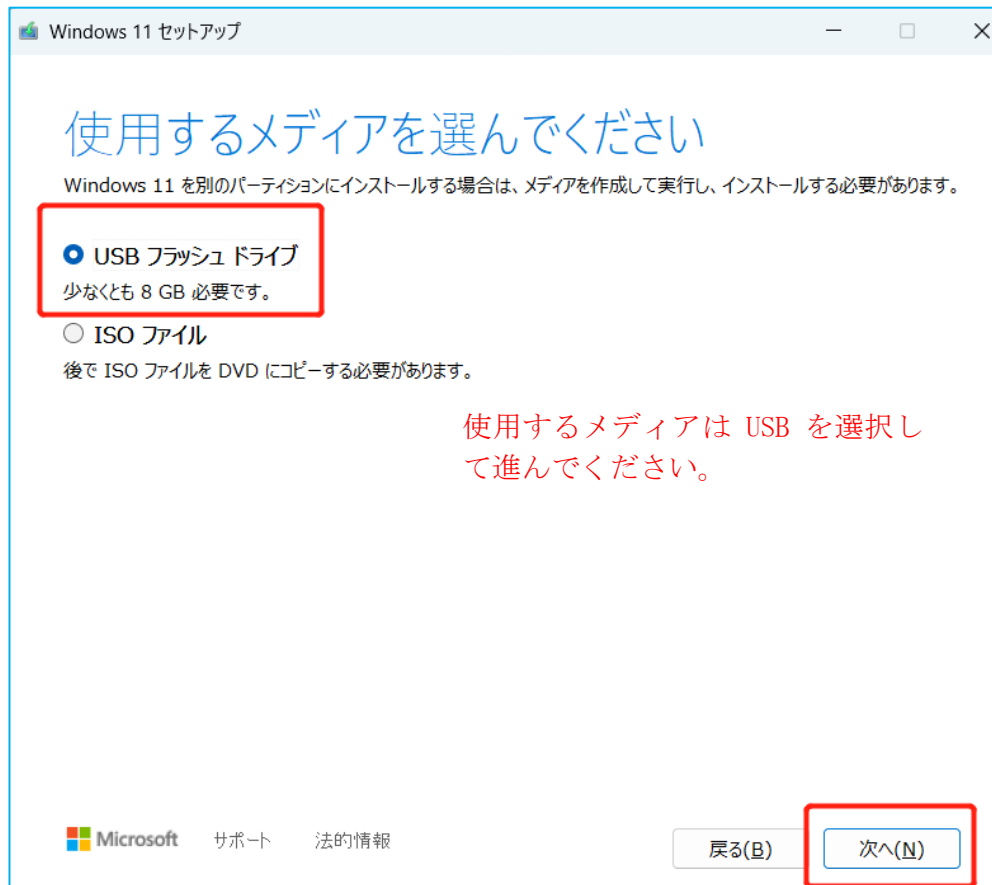


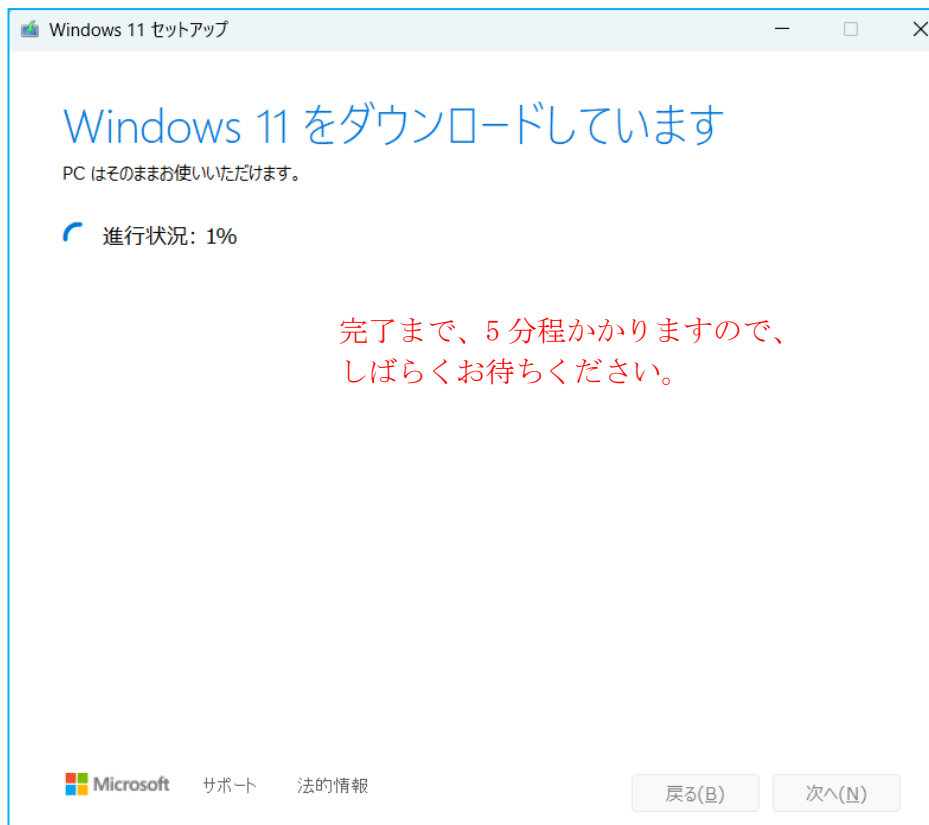
ユーザーアカウント制御です。
「はい」をクリックします。



適用される通知とライセンス条項です。
「同意する」をクリックします。







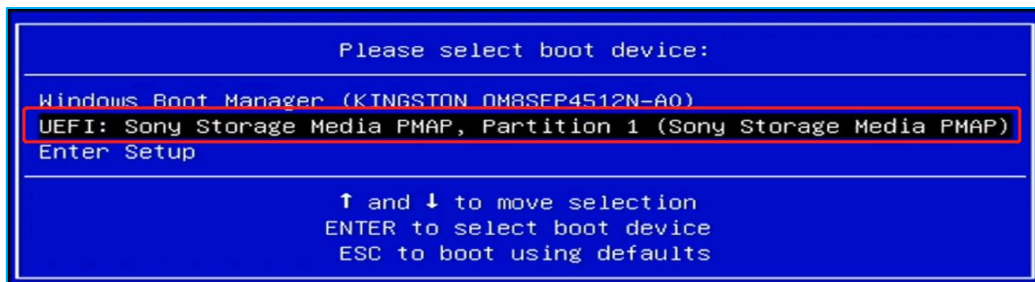
パソコンのクリーンインストール作業を始めます。

- ★ リカバリーを行う PC に Windows 11 リカバリー用 USB メモリを挿し込みます。
パソコンを起動してすぐに<F7>キーを連打しながら BIOS の画面を開きます。



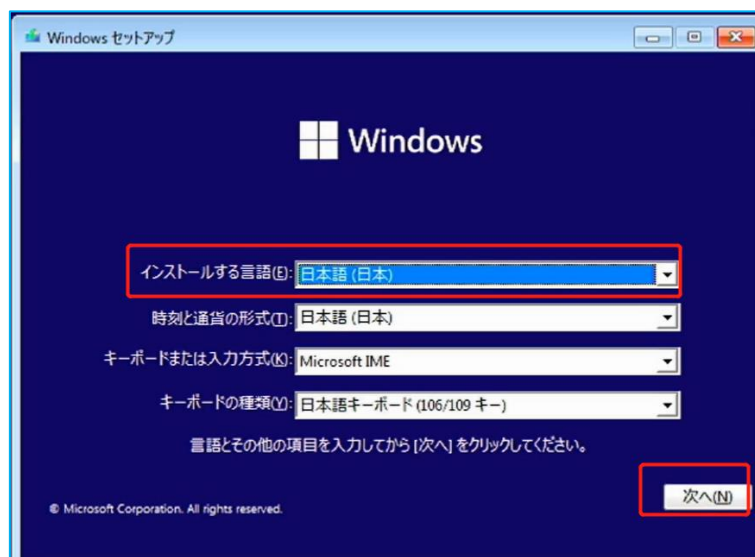
注意：Bluetooth のキーボードを接続している場合、<F7>キーを押しても BIOS の画面になりません。有線のキーボードで作業を行ってください。

- ★ 起動ストレージの選択画面が表示されます、Windows11 のインストールディスクを入れた UEFI - USB メモリ を選択します。

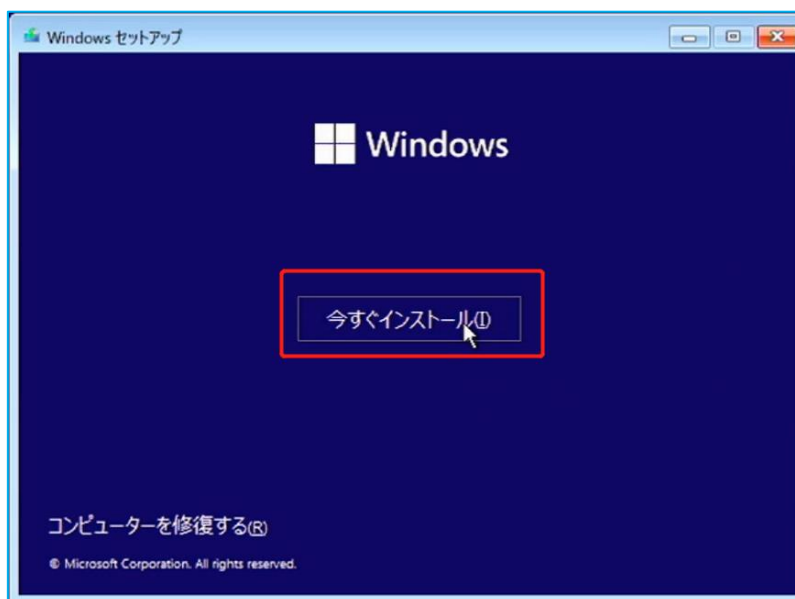


「UEFI」を選択することで UEFI モードでのインストールとなり、パソコンの電源を入れてから Windows11 起動まで起動の時間が速くなります。

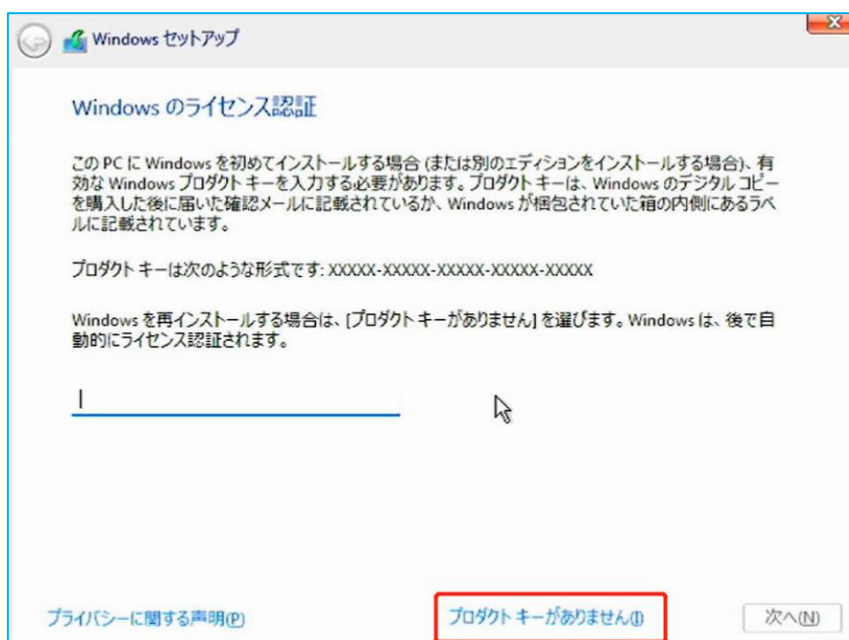
- ★ インストールする言語や形式を選択し、次へボタンを押します。



- ★ 今すぐインストールを選択し、セットアップウィザードを起動します。

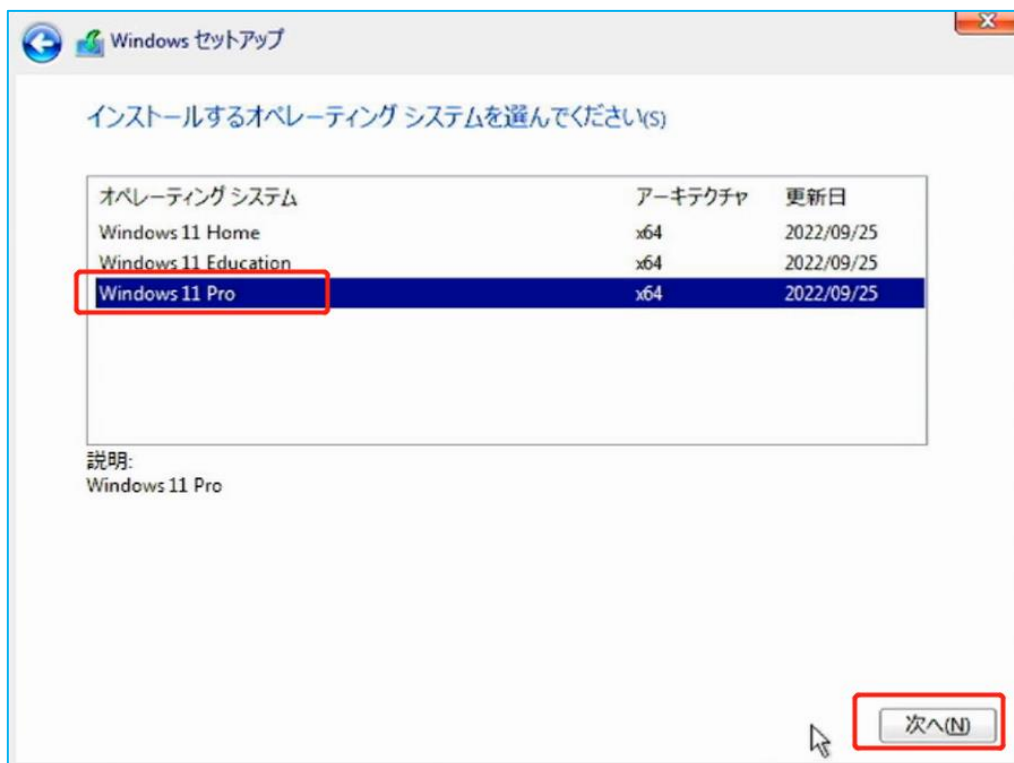


- ★ 「プロダクトキーがありません」を選択して「次へ」をクリックしてください。
システムリカバリー後、インターネットに接続することで自動的にライセンス認証が行われます。

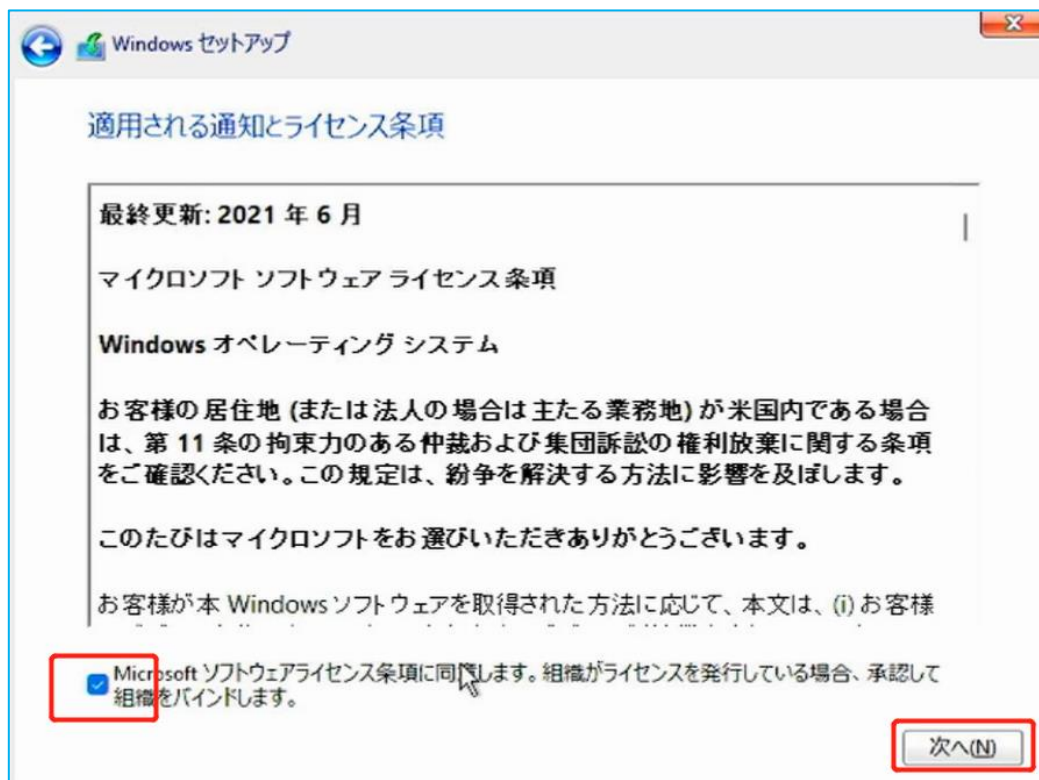


こちらの商品はメーカーでライセンス認証済みです。一度、ライセンス認証すれば、同じパソコンなら何度インストールしてもプロダクトキーを再度入力する必要はありません。

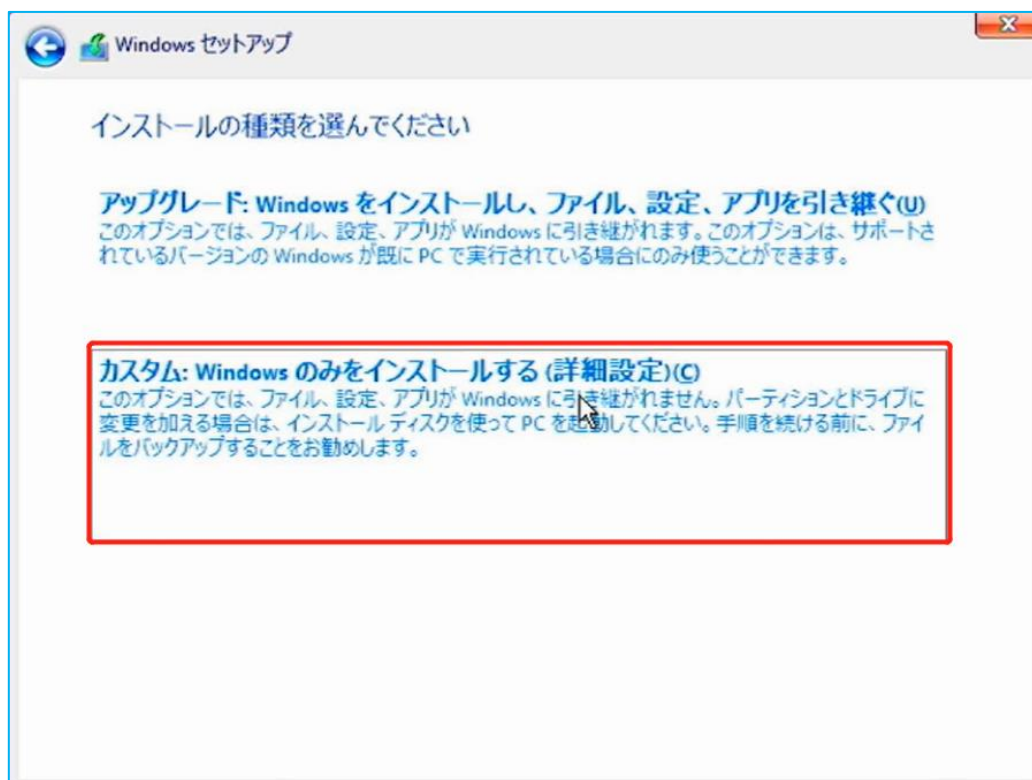
- ★ オペレーティングシステムは Windows11 Pro を選択



- ★ ライセンス条項をスクロールし、読み終わったら「同意します」を選択してチェックを入れて次へを選択します。

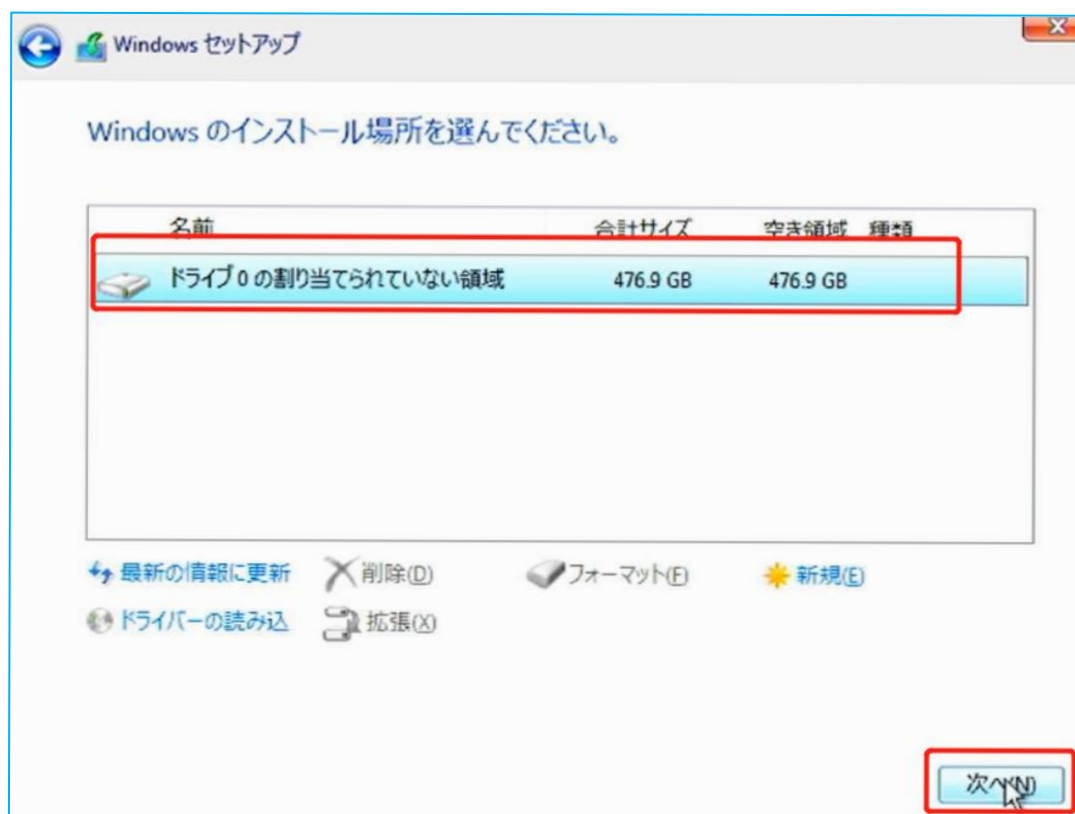
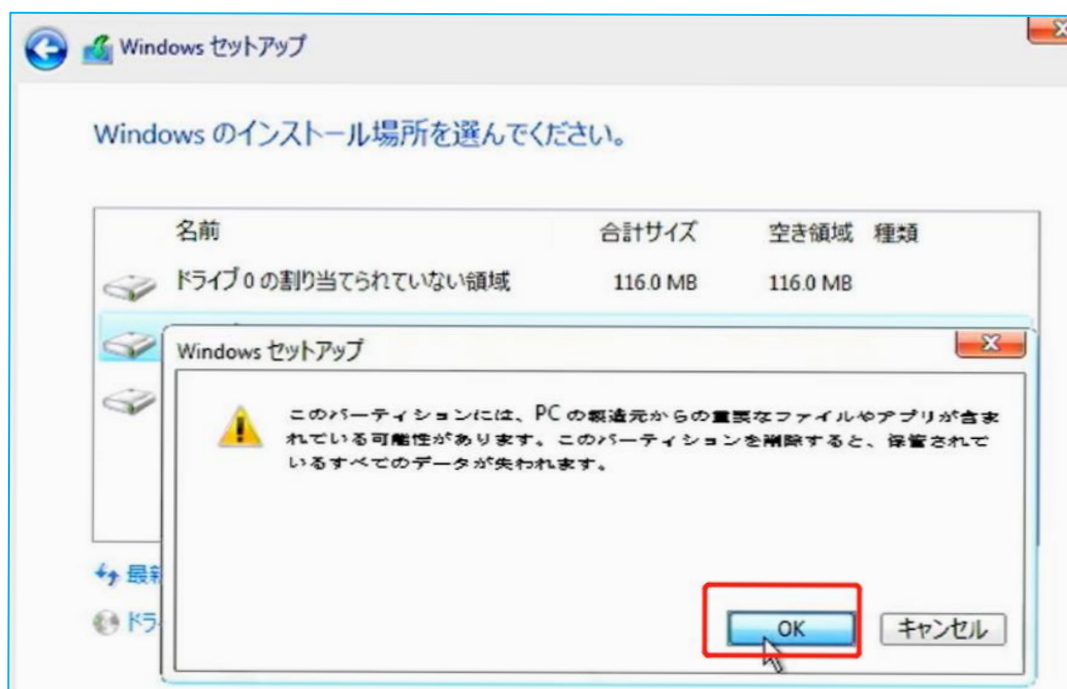


- ★ 「カスタム：Windows のみをインストールする（詳細設定）」をクリックします。



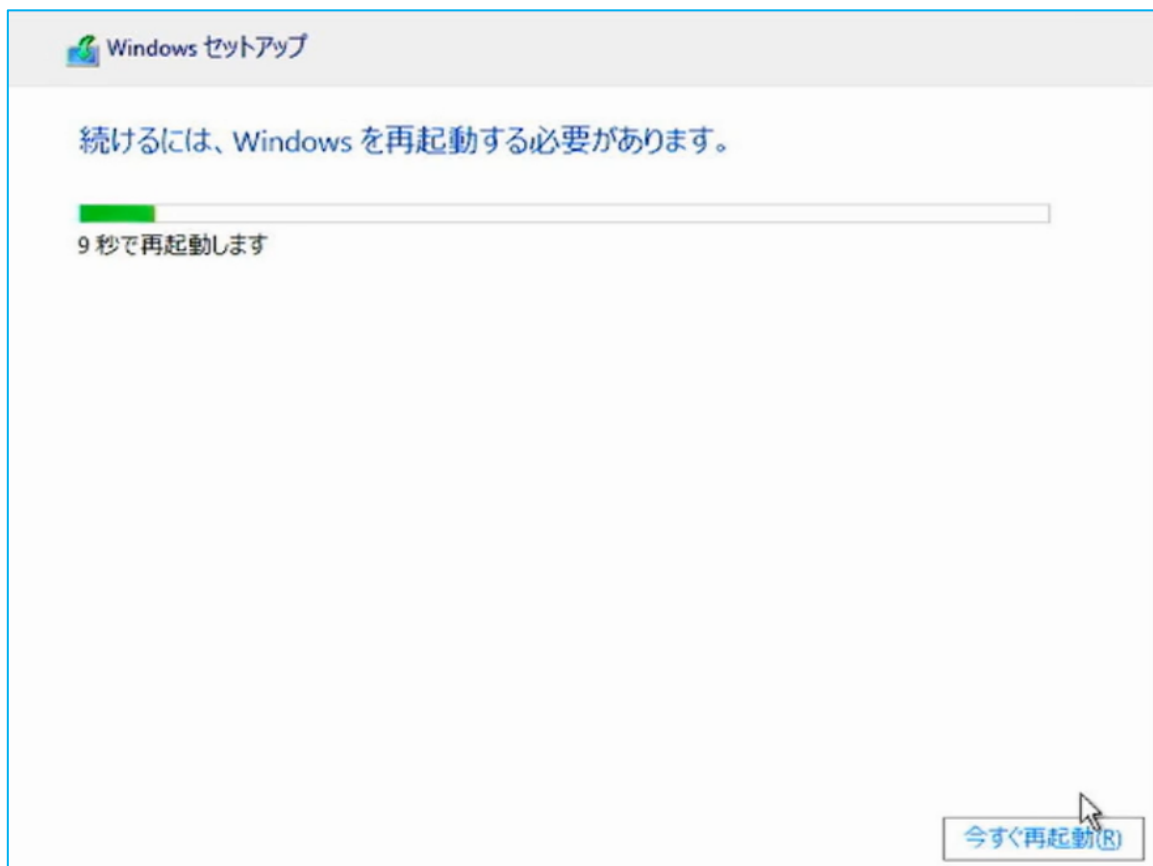
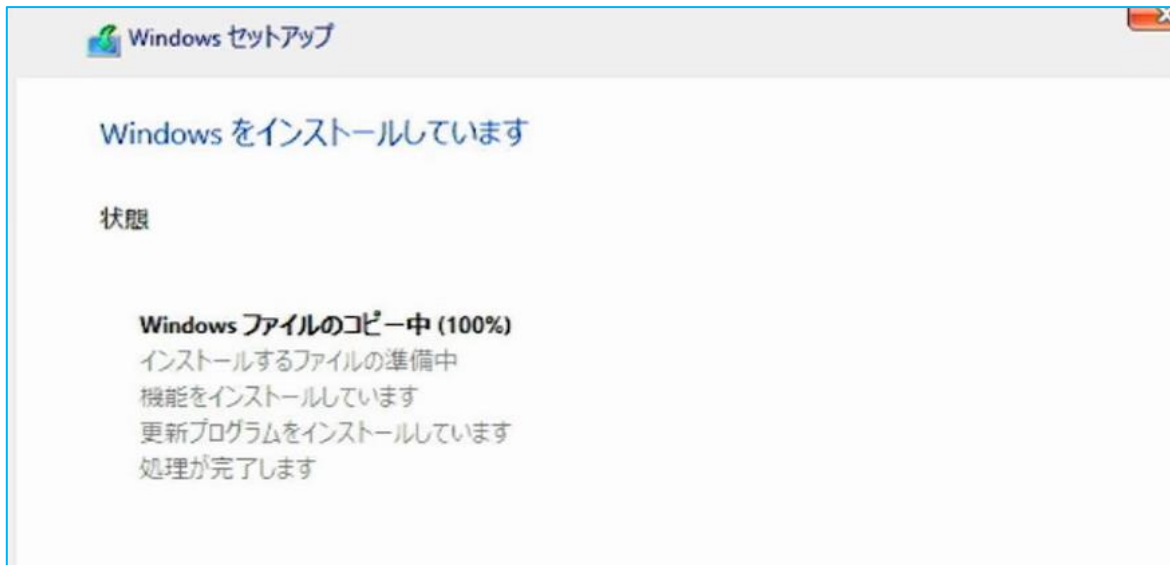
- ★ Windows11 のインストール先ストレージを選択、ここではドライブ 0 の SSD をインストール先に選択しますが、インストールを行う前にドライブ 0 のパーティション 1～4 のデータをすべて削除します。 ※1 つずつ順番に選択し削除ボタンを押します。
大切なデータを保存している場合は、必ずバックアップを行ってください。





★ ストレージに問題が無ければ、インストールが開始されます。

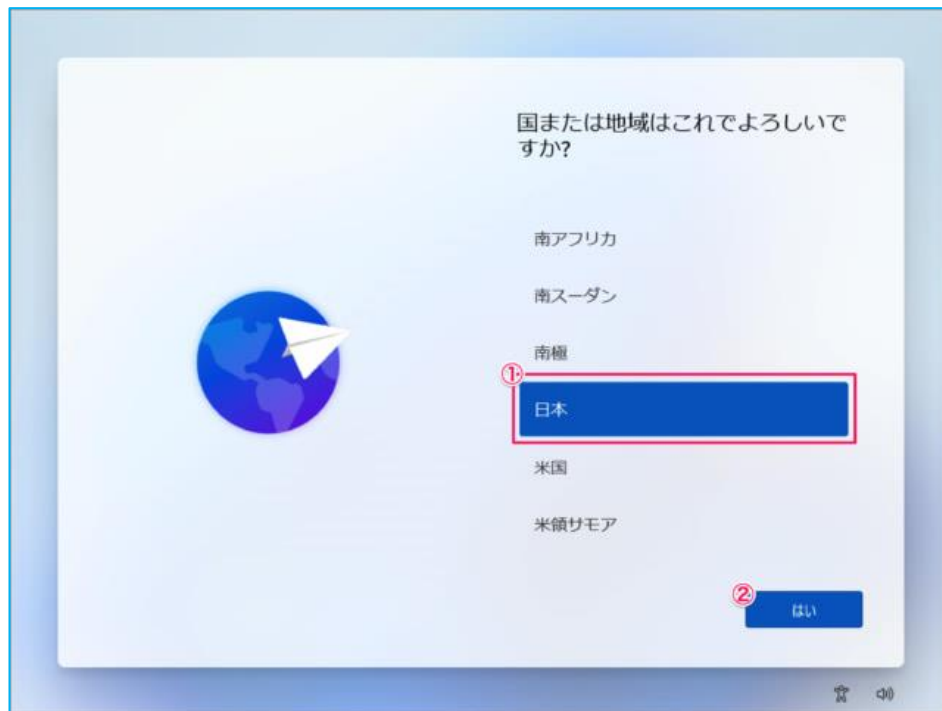
インストール途中複数回再起動が行われる場合がありますが、何も操作せずそのままお待ちください。



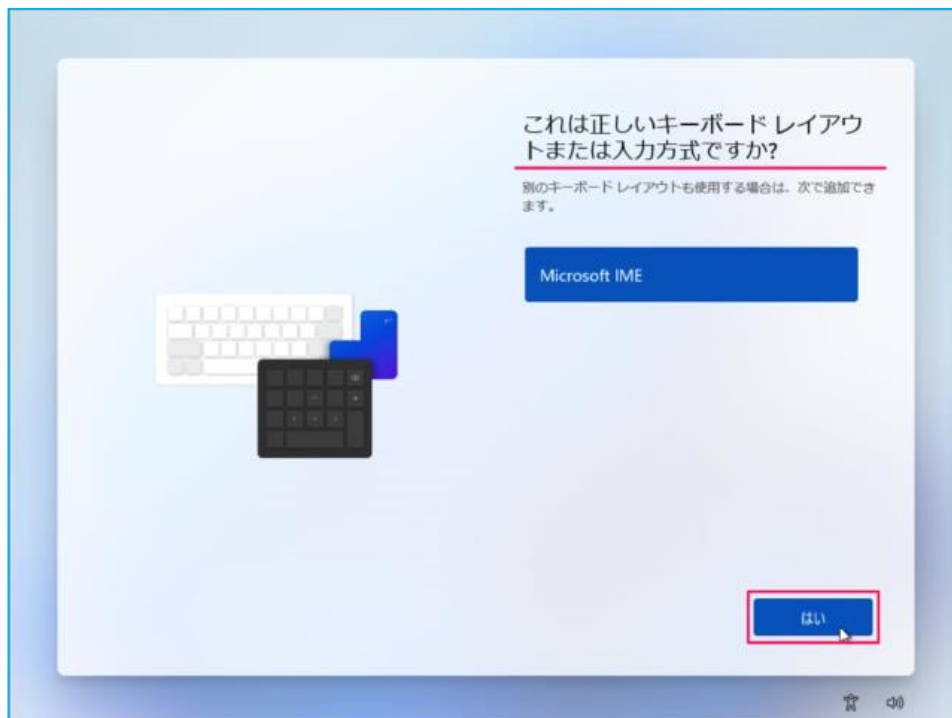
パソコンの初期設定

★ インストールが終わると、初期設定が開始されます。

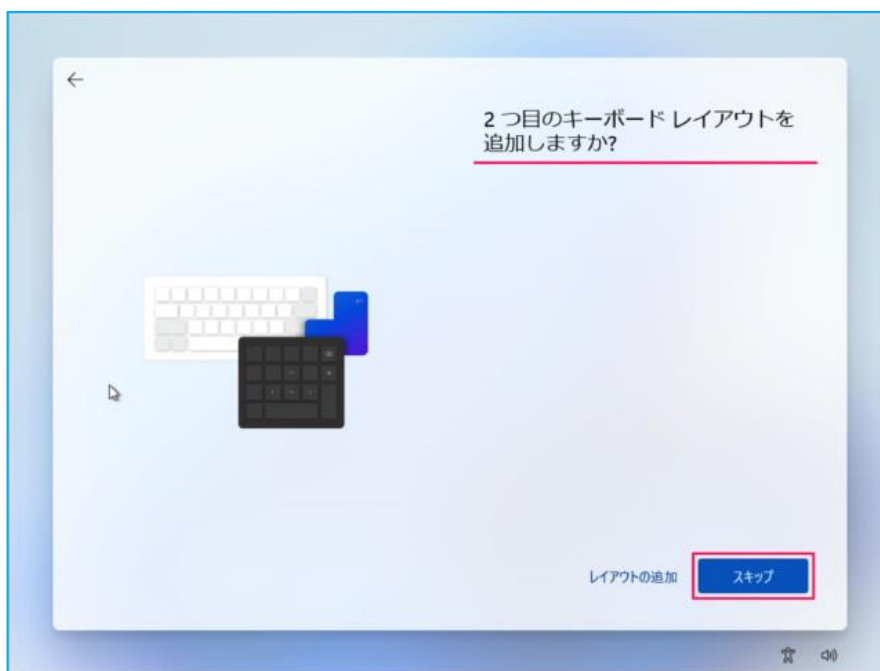
まずは使用する地域を選択します、そのまま「はい」を選択します



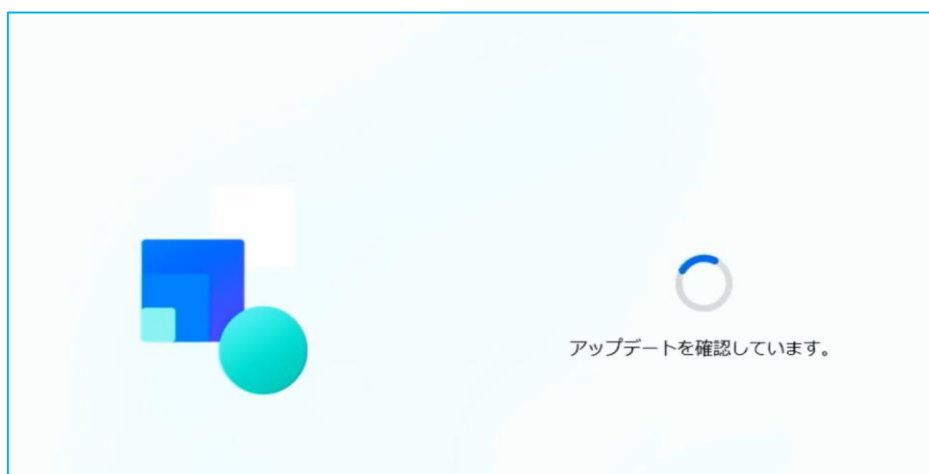
キーボードレイアウトを選択します。そのまま「はい」で次に進みましょう。



複数キーボードをつなぎたい場合はレイアウトの追加を選択します。追加せず次に進む場合は「スキップ」を選択しましょう。



「ネットワークに接続しましょう」と表示されますので、有線 LAN(イーサネット)、もしくは無線 LAN に接続後、[次へ]を選択します。



「デバイスに名前を付けましょう」と表示されるので、任意の名前を設定し[次へ]を選択します。
特に設定したい名前等がなければ、[今はスキップ]を選択します。この場合、自動的に PC の名前が設定されます。



Windows 11 Pro の場合はこの後「このデバイスをどのように設定しますか？」と表示されるので「個人用に設定」もしくは「組織用に設定」のいずれかを選択してから「次へ」を選択します。
※ここでは「個人用に設定」を選択します。



Microsoft エクスペリエンスのロックを解除する、「サインイン」を選択します。



「Microsoft アカウントを追加しましょう」と表示されるので、お持ちの Microsoft アカウントに設定している「メールアドレス」を入力して「次へ」を選択します。



「(Microsoft アカウント名)さん、では、始めましょう！」画面が標示されます。

ここでは、他の Windows デバイスで同一の Microsoft アカウントを利用している場合などで、表示される内容が変わります。状況に応じて選択して「次へ」を選択します。

どのデバイスからもデータやアプリを引き継がないで利用する場合は「新しいデバイスとして設定する」を選択しますが、その表示がない場合は「他のオプションを表示」をクリックしてください。



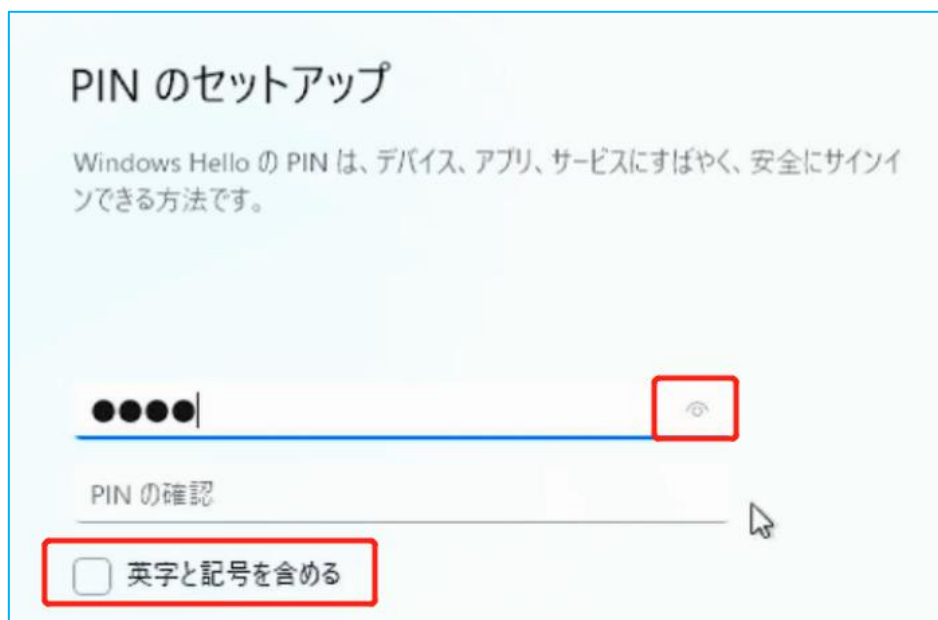
「PIN を作成します」画面が表示されるので「PIN の作成」を選択します。



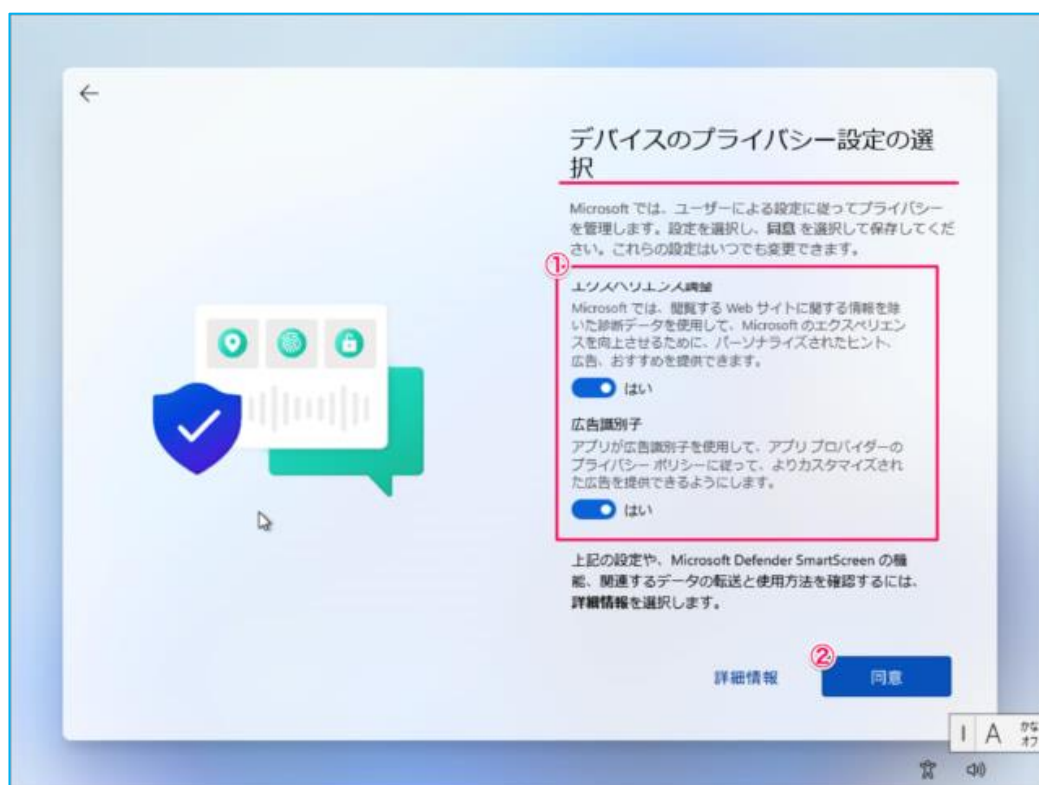
「PIN のセットアップ」画面が表示されるので、設定したい PIN コードを上の方、下の欄ともに同じものを入力し、「OK」を選択します。

※入力した PIN を確認したい場合は、枠の右側のボタンを押すと、入力した数字が表示されます。

※数字だけでなく、英字や記号を含めたい場合は、チェックボックスにチェックを入れてから設定します。



「デバイスのプライバシー設定の選択」画面が表示されるので、必要な設定を[はい]に設定して、すべての設定が終わりましたら、[同意]を選択します。



「エクスペリエンスをカスタマイズしましょう」画面が表示されるので、必要な項目にチェックを入れて、「承諾」を選択してください。特に必要がなければ「スキップ」を選択してください。



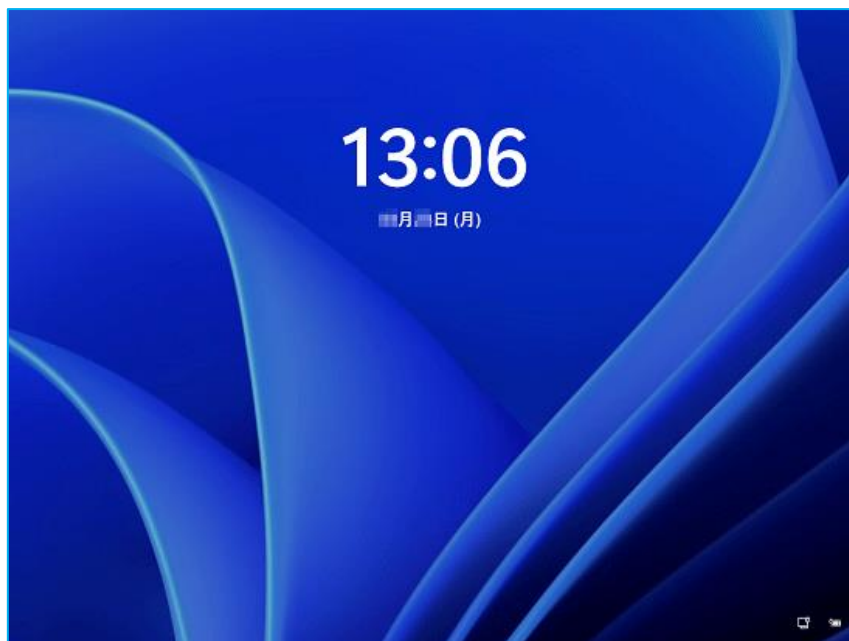
「更新プログラムを確認しています。」画面が表示されるので、そのままお待ちください。
アップデート及び設定作業が行われます。アップデートされる内容によっては時間がかかる場合もありますので、操作など行わず、そのままお待ちください。



これには数分かかる場合があります。

PC の電源を切らないでください

デスクトップ画面が表示されたら、Windows を利用できます。



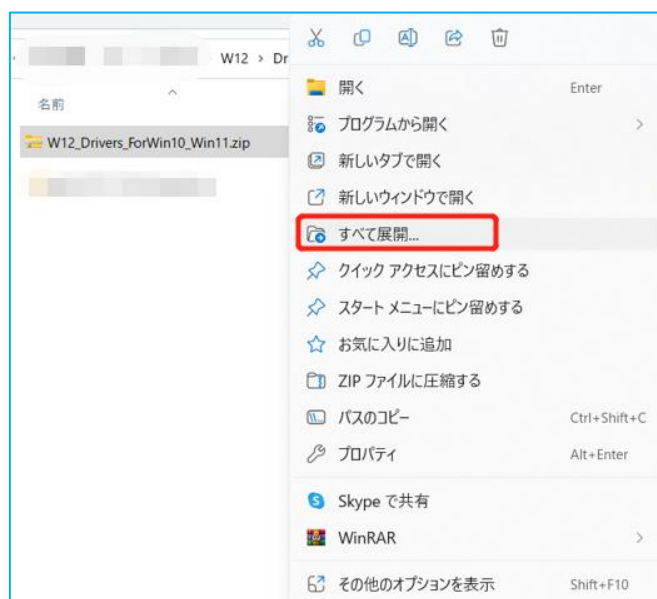
パソコン W12 K12 K12C 専用のドライバーをインストールします。

リカバリー用 USB メモリが無い場合は下記のアドレスにアクセスして専用ドライバーをダウンロードしてください。

<https://www.asuswebstorage.com/navigate/a/#/s/F19BB4A7A59E4D2085456C610D3E68DBY>

ダウンロードしたファイルをすべて展開（解凍）してください。

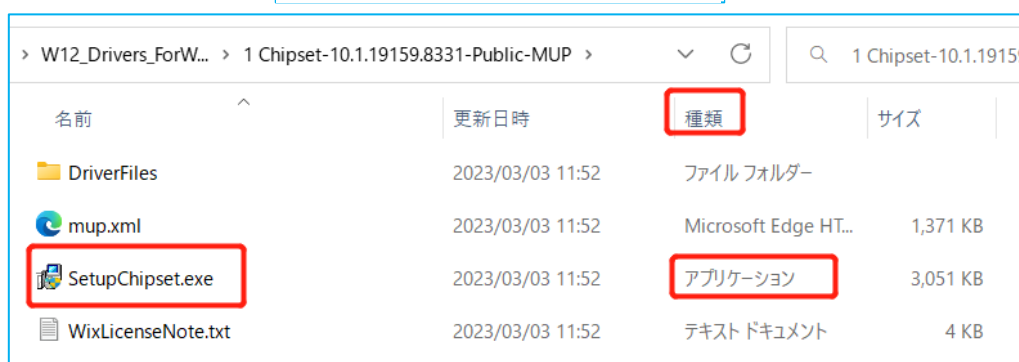
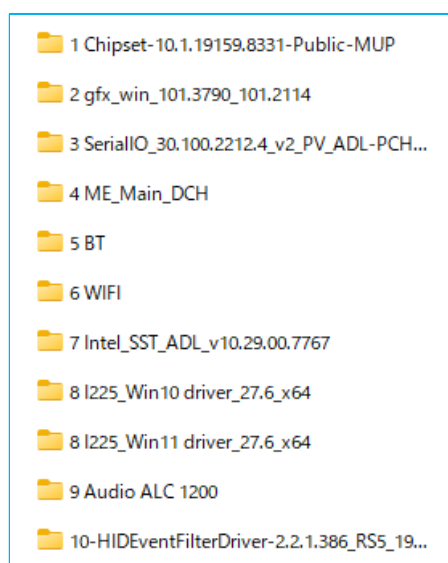
※ファイルの実際の表示は異なる場合があります。実際の画面を参照してください。





ダウンロードしたドライバー、または、付属のリカバリー用 USB メモリをお持ちの方は、USB メモリのフォルダ内の対応機種 PC 名の記載されたドライバフォルダをダブルクリックしてください。

フォルダを順番に開いていき、すべてのフォルダ配下のアプリケーションファイルをダブルクリックして各種ドライバーをインストールしてください。





以上でリカバリーは完了となります。

リカバリー後、インターネットに接続することで自動的にライセンス認証されます。